

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[管理型](平成 28年 7月度)

対象期間：平成 28年 7月 1日 ~ 平成 28年 7月 31日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の2ハイ、規12条の7の5七イ]

種類	数量(単位)	
燃え殻	1,827.18	(ト/月)
汚泥	4,706.77	(ト/月)
廃プラスチック類	11.15	(ト/月)
ガラスくず及び陶磁器くず	187.45	(ト/月)
鉱さい	253.78	(ト/月)
がれき類	64.39	(ト/月)
ばいじん	822.01	(ト/月)
13号廃棄物	530.50	(ト/月)
がれき類(石綿含有)	0.63	(ト/月)
混合廃棄物	227.37	(ト/月)
その他(燃え殻)		(m3/月)
その他(汚泥)		(m3/月)
その他(ガラス陶磁器屑)	6.00	(m3/月)
その他(廃プラスチック類)	3.00	(m3/月)
その他(煤塵)		(m3/月)
その他(瓦礫類)		(m3/月)
その他(廃石綿等)	200.00	(m3/月)
混合廃棄物(石綿含有)	16.00	(m3/月)
ガラス陶磁器屑(石綿含有)	7.00	(m3/月)
がれき類(石綿含有)	83.00	(m3/月)

水質検査の実施状況と措置(年1回)[規12条の7の2ハニ及びホ、規12条の7の5七ニ及びヒ]

	地下水等		放流水
	平成28年3月8日	平成28年3月8日	平成28年3月8日
採取日	平成28年3月8日	平成28年3月8日	平成28年3月8日
採取場所	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
検査結果が得られた日	平成28年4月1日	平成28年4月1日	平成28年4月1日
検査項目	ダイオキシン	ダイオキシン	ダイオキシン
検査結果	0.067 (pg-TEQ/l)	0.081 (pg-TEQ/l)	0.00022 (pg-TEQ/l)
異状の有無	有・ 無	有・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容	/		

水質検査の実施状況と措置(月1回)[規12条の7の2ハニ及びホ、規12条の7の5七ニ及びヒ]

	地下水等		放流水
	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
採取場所	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
採取日	7月5日	7月5日	7月5日
検査結果が得られた日	7月14日	7月14日	7月14日
電気伝導率	7 (25°C mS/m)	15.20 (25°C mS/m)	
塩化物イオン濃度	8.1 (mg/l)	1.80 (mg/l)	
水素イオン濃度			7.8 (20.8°C)
生物化学的酸素要求量			1.7 (mg/l)
化学的酸素要求量			15 (mg/l)
浮遊物質			<1 (mg/l)
窒素含有量			4.5 (mg/l)
異状の有無	無	無	
必要な措置を講じた日付とその内容	/		

施設の点検[規12条の7の2ハロ、ハ、ヘ、ト及びチ、規12条の7の5七ロ、ハ、ヘ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理施設
	平成28年7月29日	平成28年7月29日	平成28年7月29日	平成28年7月29日
点検日	平成28年7月29日	平成28年7月29日	平成28年7月29日	平成28年7月29日
異状の有無	無	無	無	無
必要な措置を講じた年月日とその内容	平成 年 月 日			
必要な措置を講じた年月日とその内容	/			

※「防凍のための措置」：当該処分場の導水管等は、凍結損壊のおそれのある部分はありません。

残余容量

測定年月日	平成28年 3月31日
測定結果	551,184m3

※1 処分場の平面図に位置を明示すること。

*この書式は(社)全国産業廃棄物連合会最終処分部会作成を元に作成。